

教科(科目)	芸術 I (音楽 I)	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	教育出版社 「音楽 I 改訂版 Tutti」				
副教材等	なし				

1 学習目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

2 指導の重点

- ・曲想を感じ取り、イメージをもって歌う。
- ・曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌う。
- ・楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏する。
- ・楽曲の文化的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞する。
- ・音楽に関する基礎的な理論を理解するとともに、表現と鑑賞に活用する能力を養う。

3 学習計画

月	領域	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	歌唱 (斉唱) 器楽 (リコーダー) 鑑賞 (バロック音楽) 楽典 (大譜表と音名～拍子)	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 ・コンコーネ 50 番 ・校歌 ・日本語の曲 ・リコーダーの種類 ・運指、指番号 ・シングルタンギング ・左手のみのエクササイズ ・バロック音楽の特徴、時代背景 ・独奏曲 (オルガン、チェンバロなど)、協奏曲、カンタータ、オラトリオなど ・ト音記号、ヘ音記号 ・音符の種類 	24	期末考查 実技テスト ノート提出
8 9 10 11 12	歌唱 (合唱) 器楽 (リコーダー) 器楽 (ミュージックベル) 鑑賞 (古典派の音楽) 楽典 (強弱記号～音楽用語)	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 ・ハーモニー練習 ・日本語の合唱曲 ・ダブルタンギング、フラッタータンギング ・サミング ・二部合奏、三部合奏 ・基本奏法 (単打音、サスティン、トレモロ、スタッカート) ・クリスマスソングの演奏 ・古典派の音楽の特徴、時代背景 ・独奏曲 (ピアノ、ヴァイオリンなど)、交響曲、室内楽曲など ・強弱記号 ・速度記号、速度標語 ・発想標語 ・奏法に関する記号、反復記号 	24	期末考查 実技テスト ノート提出
1 2 3	歌唱 (斉唱) 器楽 (リコーダー) 鑑賞 (ロマン派の音楽) 楽典 (いろいろな形式～演奏形態) ※著作権について	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習 ・イタリア語、ドイツ語、フランス語の曲 ・テナー、バスを用いた四部合奏 ・ロマン派の音楽の特徴、時代背景 ・独奏曲 (ピアノなど)、リート、オペラなど ・いろいろな形式 ・演奏形態、声種、曲種 ・弦楽器、管楽器、打楽器 ・著作権保護の必要性、著作権の概要 ・音楽を楽しむ時のルール 	16	学年末考查 実技テスト ノート提出

合計 64 時間 (55 分授業)

4 課題・提出物等

- ・期末考査と学年末考査で筆記テストを行う。
- ・筆記テストの後で、ノートを提出する。
- ・歌唱と器楽については、題材ごとに実技テストを行う。
- ・実技テストは、一人ずつではなくグループで行う。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

音楽への関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	鑑賞の能力	知識・理解
音楽を愛好し、音や音楽に対する興味関心を持ち、意欲的に音楽活動をしようとする。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取って創造的な音楽活動の工夫をしようとする。	多様な音楽に対する理解を深め、創造的に鑑賞することができる。	音楽に関する基礎的な理論を理解し、表現と鑑賞に活用することができる。

以上の観点を踏まえ、

- ・授業の取り組み（授業態度、学習活動への参加状況など）
 - ・考査時の筆記テスト
 - ・実技テスト
 - ・ノートの記載内容
- などから、総合的に評価します。

6 担当者からの一言

音楽Ⅰの授業では、歌唱を中心にしながら毎時間複数の領域を扱います。音楽のすばらしさを次世代の人たちに伝えていけるように、基礎的な理論を理解し、さまざまな音楽に接しましょう。また、音楽の発展に貢献してきた先人たちの努力・工夫に対して常に敬意を払い、現在音楽を楽しむことができている幸せを実感し、今後の音楽のあり方についても一緒に考えてみましょう。わかりやすい授業を心がけるので、授業中は私語を慎み、集中して取り組んでください。（担当：青木 睦子）